

(1) 資格確認書は、国民健康保険法に基づきマイナンバーカード未保有者や、保有者のうち健康保険証利用未登録者など、オンラインでの資格確認を受けることができない状況にある場合に限り交付するものである。幕別町国民健康保険

問 救急車による救急搬送時に
救急隊員が傷病者のマイナ
ー保険証を活用し、過去の受診歴な
どを確認できる「マイナ救急」が
令和7年10月1日から全国で一斉
に始まつた。救急活動の迅速化が
可能となる「マイナ救急」は町民
の命と健康を維持するにあたつて
は重要なアイテムになると推察さ
れる。ついては以下の点を伺う。
(1) 幕別町の国民健康保険被保険者
のうち資格確認書交付者数は。
(2) スマートフォンのマイナ保険証
の登録数・登録率は。
(3) マイナ保険証の普及推進、スマ
ートフォンへのマイナ保険証の登
録者を増やすための手立ては。



谷口 和弥 議員 (無会派)

問	答
マイナ保険証の普及推進をさらに積極的に 適切な医療の提供を進めるために重要性 は一層高まっている	答

の被保険者数5029人のうち、マイナ保険証の登録者は3410人であり、残りの1619人、約32・2%の方に資格確認書を交付している(令和7年10月末現在)。(2)国からの公表がないため、町として把握することはできないが、さらに利便性が高まつたと感じている方がいるものと捉えている。

(3)マイナ保険証の性質やメリットなどを広報紙やホームページ、出前講座などを通じて町民へ分かりやすい情報提供に努めるとともに、医療機関や消防と連携し、安心・安全な医療の提供に大きな役割を担うマイナ保険証の普及啓発を進めていく。



(1) 今年度のヒグマの出没状況は、
目撃及び足跡情報が17件、捕獲数
は2頭である(令和7年11月末現

答	ヒグマの被害を防止し、町民との共存共栄を
マニユアル」	年度内を目途に「緊急銃猟の作成を行う

(4) 野生動物への餌やり防止を広報やホームページで周知している。また、ヒグマ被害を防ぐため、人の生活圏に引き寄せないよう、誘引物を適切に管理することが重要である。今後も町民への啓発活動に力を注ぐとともに、獣友会との連携を強化し、ヒグマの目撃情報後に追跡・防除を速やかに行い、被害防止に努めていく。

(3)有害鳥獣駆除体制強化のため、ゆとりみらい21推進協議会では北海道獣友会の予備講習会受講費や狩猟免許取得などを助成している。狩猟者の育成には助成に加え、経験豊富な狩猟者からの知識や技術の伝承、現場での経験が重要であるため、同協議会の鳥獣被害対策専門部会において協議を続け、有害鳥獣駆除体制の充実を図って

る。h a、被害額は76129円であ
在)。人的被害は発生していない
が、農業被害として、令和6年度
の調査結果では、てん菜やデント
コーンなどの被害面積が0・11